

環境活動レポート

2023 年版（2023. 10. 1 ～ 2024. 9. 30）

エコアクション21



《目 次》

環境経営方針

環境組織図

1. 事業の概要
2. 主要な環境活動計画の内容
3. 環境活動の取組結果の評価
4. 次年度の環境活動の取組み内容
5. 代表者による全体評価と見直しの結果
6. 環境関連法規等への遵守状況の確認及び評価の結果
並びに違反、訴訟等の有無

発効日：2024 年 11 月 1 日

承認	作成
片浦	和田

株式会社 丸 当

環境経営方針

当社は、産業廃棄物処理の収集運搬及びリサイクルを行い、資源の有効活用をすることで、地球環境の保全に貢献したいと考えています。

また、環境保全など地球環境を総合的に考慮し、循環型社会へ対応できる企業を目指し活動します。

1. 産業廃棄物の削減と環境負荷低減のため、リサイクルのプロを目指します。
2. 環境保全、汚染の予防を確実なものとするために、環境保全推進体制を維持し、継続的改善のための見直しを行います。
3. 環境関連の法令およびその他の関連要求事項を順守します。
4. 次の項目について、優先的に取り組みます。
 - ①CO2 排出量の削減
 - ②節水の推進
 - ③廃棄物の有効利用・資源化の推進
 - ④グリーン購入
 - ⑤お客様へのリサイクル提案およびリユースの促進
 - ⑥地域社会貢献活動の実施
5. 当社の経営における課題とチャンス进行分析し必要に応じて環境経営方針ならびに環境経営目標に反映します。
6. この環境方針を全従業員に周知させ、エコカンパニーとしての意識向上に努めます。

2007年 4月1日 制定

2013年 7月1日 改定

2020年10月1日 改定

2024年 4月1日 改定

株式会社 丸当

代表取締役 片浦 一幸



改定 2024 年 4 月 1 日

【環境管理責任者／片浦 一幸】

- ・ 環境経営システムをエコアクション 21 の要求事項に基づいて構築運用し、結果を代表者に報告する。

【環境管理副責任者／和田 慶一・廣嶋 孝行】

- ・ 環境管理責任者の補佐

【事務所責任者／山近 定弥】

- ・ 部門が取り組むべき事項「廃棄物のリサイクル・節水・節電」での取り組み事項の統括管理と、手順書に基づく日々の取組活動の促進

【運輸部門責任者／渡辺 貴志】

- ・ 部門が取り組むべき事項「車両の軽油使用量削減・廃棄物のリサイクル・節水・緊急事態への対応」での取り組み事項の統括管理・教育と、手順書に基づく日々の取り組む活動推進

【構内作業部門責任者／和田 慶一】

- ・ 部門が取り組むべき事項「車両の軽油使用量削減・廃棄物のリサイクル・節水・緊急事態への対

改定 2021 年 4 月 1 日

1. 事業の概要

1 対象事業所名及び代表者氏名

事業所：株式会社 丸当 本社

代表者：片浦 一幸

2 所在地

〒322-0017 栃木県鹿沼市下石川 732-22

3 環境管理担当者連絡先

環境管理責任者：片浦 一幸

連絡先：TEL 0289-72-1561 FAX 0289-72-1568

4 従業員数 17 名

5 事業内容及び対象範囲（認証・登録範囲：全組織・全活動）

（1）事業内容

☐ 金属スクラップ・切断・プレス加工

☐ 各種再生原料売買

☐ 一般廃棄物収集運搬、産業廃棄物収集運搬

☐ 太陽光発電事業

（2）対象事業所

☐ 本社

6 許可の内容

☐ 産業廃棄物収集運搬業（栃木県 0900043865）

・許可年月日 2021 年 11 月 19 日

・有効期限 2026 年 11 月 18 日

・運搬許可車両 16 台

2 t 平 2 台、2 t パッカー 1 台、4 t パッカー 2 台、

4 t アームロール 2 台、8 t アームロール 1 台、10 t アームロール 2 台、

8 t ユニック 2 台、8 t ヒアブ 1 台、10 t ユニック 1 台

15 t 平 1 台、15 t ヒアブ 1 台

・取扱う産業廃棄物の種類 15 種類

燃え殻・汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック・

紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さ・ゴムくず・金属くず・

ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず・鋳さい・

がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む）

☐ 一般廃棄物収集運搬業（許可番号 第 86 号 <鹿沼市指令 2013 環 198 号>）

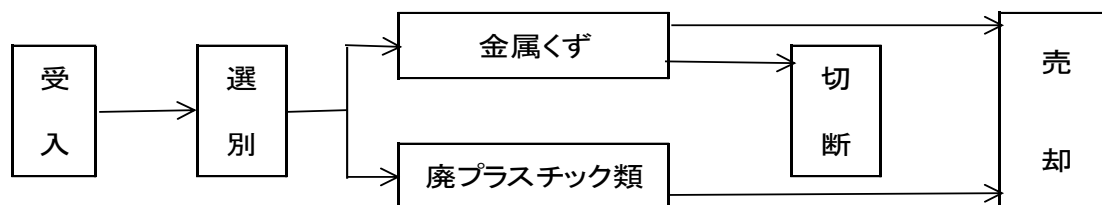
・許可年月日 2023 年 6 月 1 日

・有効期限 2025 年 5 月 31 日

・運搬許可車両 4 台・

2 t 平 2 台、2 t パッカー 1 台、4 t パッカー 2 台

・取扱う廃棄物の種類 4 種類



9 処理実績

・産業廃棄物

2023 年版（2023.10～2024.9）

処理方法等	廃棄物等種類	処理量（t）
産業廃棄物収集運搬	（木くず）	1559.23
	（がれき類）	36.26
	（金属くず）	78.96
	（燃え殻・鋳さい）	7.48
	（廃油・廃アルカリ・汚泥）	19.23
	（廃プラスチック）	502.45
	（紙くず・繊維くず）	9.72
	ガラス陶器、コンクリート	123.00
収集運搬合計		2336.33

・一般廃棄物

2023 年版（2023.10～2024.9）

処理方法等	廃棄物等種類	処理量（kg）
一般廃棄物収集運搬	燃やすごみ	104,910
	燃やさないごみ	90
収集運搬合計		105,000

・有価物

2023 年版（2023.10～2024.9）

処理方法等	有価物種類	処理量（kg）
有価物回収・選別・加工	金属屑類	9,452,267
	古紙類	595,950
売却量合計		10,340,712

10 廃棄物処理料金

営業時間内であれば、予約なしでいつでも荷受けしております。また、現地引取りのサービスも承っております。（要予約）

処分の対象物から出来る限り有価物を取り出すという方法を探っていますので、おおむね金属部品で構成された不用品等は、買取りが出来ることが多いので、お気軽に御問合せ下さい。

2. 主要な環境活動計画の内容

取組項目	活動計画
◆ 省エネルギーに対する取り組み（ＣＯ２の削減及び受託した産廃の収運・処分における環境配慮項目）	
《収集運搬車及び重機の燃費向上》 収集運搬車：軽油 ／ 重機：灯油、軽油	・エコドライブの手順周知と実施 ・燃費の算出 ・車両の点検整備を適時実施 ・シャーリング運行時の使用電力の削減
◆ 廃棄物のリサイクル	
《廃棄物のリサイクル率向上》 リサイクル率算出	・分別の実施と周知 ・お客様へのリサイクル提案
◆ 水使用量の削減活動	
《地下水》使用量の削減	・地下水使用量計測の実施 ・節水ステッカーを各場所に設置する ・節水手順の周知 ・雨水の活用 ・凍結防止の対応
◆ グリーン購入	
グリーン購入についての勉強会 コピーの再生紙購入 裏紙の利用 ◎古い重機・車両の買換	・環境省の資料を使つての勉強会 ・対象商品のリストアップ ・裏紙を使える紙を一か所に集めて利用する。 ・今後増えるであろう重機・車両の買換えの際も環境配慮型の製品を選択する。
◆ お客様へのリサイクル提案	
客先へ積極的にリサイクル提案をすることで、環境への取組活動に寄与する。	・問合せ、下見や見積りの段階でお客様へ積極的なリサイクルの提案をする。
◆ 従業員への環境教育活動	
勉強会の開催。 実際の業務に携わりながら、『環境』特にリサイクルに関する知識を学び、それをまた業務に反映できる様な教育の実施。	・環境方針及び目標に対しての取り組み ・環境関連法規についての教育実施 ・お客様へリサイクル推進の提案。 ・リユースの促進。 ・効率の良い引取りマニュアルの作成。

◆化学物質については廃棄物の処理または処分の工程等での使用はありません。

3. 環境活動計画の取組結果と評価

	単位	2023 年版の状況		
		目標	実績	取組の評価
①構内重機省エネ活動（軽油燃費算出）	ℓ/h	11.1	11.1	○
②収集運搬車省エネ活動（軽油燃費算出）	Km/ℓ	4.0	4.0	○
③二酸化炭素の排出量 *電気の排出係数は 2022 年東京電力エナジーパートナー の 0.376kg-CO2/kWh を採用	K g-co2	250,000	170,337	○
④事務所発生廃棄物のリサイクル（率）	%	90	100	○
⑤太陽光発電事業への取組み（発電効率の維持）		発電効率の維持	モニタリング・ メンテナンス （委託）・掃除	○
⑥現場発生廃棄物のリサイクル（率）	%	90	90	○
⑦地下水の節水と使用量の計測	m ³	200	152	○
⑧グリーン購入	%	100	100	○
⑨お客様へのリサイクル提案	件	年間 28 件かつ 毎月 1 件以上	年間 29 件かつ 毎月 1 件以上	○
⑩リユースの促進		（継続的なリ ユースの確立）	実績あり	○
⑪地域の環境保全活動	年 2 回	会社周辺の清 掃 ・ ゴミ拾い	3/2・5/20	○

エコアクション活動の柱である『CO2 排出削減』に関わる重要項目①②③については安定して達成出来ている。継続して行きたい。

④については分別した廃棄物を実際に処分するタイミングで実績の数字が変わってしまうのだが、しっかりとした廃棄フローが決められているので、重要なのは廃棄物自体の量を減らしていくことであるという考えで取組んで行くべきと考えております。

⑤に関して、2017 年から太陽光発電をスタートし太陽光パネルの発電効率は年々下がって行くという認識で始まっているが、前期も今期も発電開始当初とほぼ同じ発電を維持している。年間の日照時間の影響も大きいのですが継続して管理して行きたい。

⑥についても考え方としては④の事務所発生廃棄物と同様に考えて発生量を抑制していくことが重要である。

⑦⑧は前期同様、従業員各位が意識をもって行動しているので順調に達成している。継続して行きたい。

⑨会社の業績に大きく関わってくる目標でもあるので積極的に取り組んで行きたい。

⑩は廃オーブンドラム缶を欲しいというお客様に売り繋ぐ事は出来た。これに関しては需要に供給が追い付いていない。また廃木パレットにおいては逆に供給に需要が追い付かない。このような状況であっても今後も継続して行くことで上手く繋がることもあると思われるので地道に活動を続けて行きたい。

⑪は前年度同様に行われた。

【 会社周辺の清掃・ゴミ拾い（2024.3.2、2024.5.20 実施 ）】

事業所周辺の美化活動を実施している。（2回/年）

（2021年1月15日実施の写真です。）



【 貯めた雨水を利用した散水 】

廃棄タンクを雨水タンクとしてリユース



フォークリフトで移動しながら構内に散水



【 猫の森太陽光発電所（49.5kw×4基）】



4. 次年度の環境活動の取組み内容

	単位	2024 年度版の取組	
		目標	取組内容
重機省エネ活動（軽油燃費算出）	ℓ/h	11.1	エコドライブ実施、アイドリングストップ
収集運搬車省エネ活動（軽油燃費算出）	Km/ℓ	4.0	エコドライブ実施、運搬ルートの効率化を推進、車両の点検整備を適時実施
化石燃料排出量（二酸化炭素の排出量）	Kg-co2	250,000	エコドライブ実施等
事務所発生廃棄物のリサイクル	%	90%	・ 分別の推進でリサイクル率アップ
現場発生廃棄物のリサイクル	%	90%	・ 廃棄物発生時には常にリサイクルを考えた解体・分別。 ・ 廃棄物発生抑制
地下水の節水と使用量の計測	m ³	200	・ 地下水使用量計測の実施 ・ 節水ステッカーを各場所に設置する ・ 節水手順の周知 ・ 凍結防止の対応（漏水対策） ・ 雨水の利用
グリーン購入の促進 （再生コピー用紙の使用）	%	100	業者の選定と、対象商品のリストアップ、購入時の選択
お客様へのリサイクル提案	件	年間 30 件	・ 社内提案書 ・ お客様絵の提案、見積り
リユースの促進		継続的なリユースの確立	・ 排出事業者を確認して、リサイクル原料・廃棄物を中古品として流通させる。 ・ 品物 1 つ 2 つで考えるのではなく、流れの中で継続的に続けられるようなもので考えていく。
地域の環境保全活動	回	年 2 回	・ 会社周辺の清掃・ゴミ拾い
収集運搬システムにおける作業時間や待機時間、走行ルートの短縮化への取組			・ 収集運搬作業の標準化と平準化 ・ 業務用ラインの活用 ・ 地図の作成

202310.1 作成

◎中期目標（2025 年版～2027 年版）

	単位	2025 年版	2026 年版	2027 年版
重機省エネ活動（軽油燃費算出）	ℓ/h	11.1	11.1	11.1
収集運搬車省エネ活動（軽油燃費算出）	Km/ℓ	4.0	4.0	4.0
二酸化炭素の排出量	Kg-co2	225,000	225,000	200,000
事務所発生廃棄物のリサイクル（率）	%	90%以上	90%以上	90%以上
現場発生廃棄物のリサイクル（率）	%	90%以上	90%以上	90%以上
地下水の節水と使用量の計測	m³	190	190	180
グリーン購入の促進	%	100	100	100
お客様へのリサイクル提案	件/年	30	31	32
リユースの促進		1 以上	1 以上	1 以上
地域の環境保全活動	回/年	2	2	2
収集運搬システムにおける作業時間や待機時間、走行ルートの短縮化への取組		データ収集及びシステムの構築	データ収集及びシステムの構築	短縮目標の設定

2024 年 10 月作成

5. 代表者による全体評価と見直しの結果

	項目	見直し有無	評価コメント
1	環境経営方針	無	現時点での活動に問題ない
2	環境活動目標	無	現時点で、目標値は妥当であると判断する。
3	環境活動計画と運用	無	適正、且つ円滑に行われている。
4	実施体制	無	会社の代表取締役役の変更に伴い環境の代表者が変わったが、肩書だけの変更でこれまで通り進めて行く。新担当者育成も継続していく。
5	経営環境システム的な指示	無	今後も世界的に環境への取組が重要視される中で、持続可能なリサイクルを経営に結び付けられるよう運用していく。
6	全体	無	社員一人一人がエコアクション活動を実践し、お客様へ還元できるように努力を続ける。
7	審査における推奨事項への対応		収集運搬システムの標準化と平準化の為のデータ収集を進めて行く。

2023. 11. 10 実施

【 今後のエコアクション活動に向けての思い 】

前期も同じ思いに至ったのですが、こうしてエコアクション活動が続けられるのは日本が平和だという証であり、この平和が持続されることを切に願います。

企業に限らず我々全員が「sustainability」を意識して活動して行くことが平穏で平和な世界を構築することに繋がって行くのでしょうか。

お金儲けや政治的なポジションでエコを発信する人々や持続不可能なエコを実践している人々。EV や自然エネルギーの推進、使い捨てプラスチック製品の過度な抑制、野生動物の過剰な保護等、環境問題はデリケートで難しいことが良くわかります。

全てが繋がっており、バランスで成り立っている世界なのに限度を知らない愚か者が我が物顔で暴れまわっております。

弊社は持続可能な範囲でエコアクション活動を実践し発信し続けることで、微力ながらも世界に貢献出来るのではと考えているからです。

その行動が会社や社員の成長に繋がって行くことも理解しております。

6. 環境関連法規等への遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

昭和 24 年 4 月の創業以来、環境関連法規の遵守に努め、現在まで違反及び当局からの環境に関する指摘はございません。

また、平成 14 年 5 月に現在の敷地へ移転してから、地域住民等からの苦情・訴訟等もございません。

（主な環境関連法規）

- ①環境基本法
- ②廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- ③栃木県生活環境の保全等に関する条例
- ④フロン排出抑制法
- ⑤家電リサイクル法